

栃木県 自主防災組織 活動事例集



～平成28年度版～

栃木県県民生活部消防防災課

はじめに

平成 28 年度 栃木県県民生活部消防防災課

平成 27 年 9 月の関東・東北豪雨や平成 28 年 4 月の熊本地震など、近年の災害は予期せぬ事態に発生し、局地的で甚大な被害を及ぼしています。

災害の種類・地域の特性に応じた適切な災害対応をとるためには、自助・互助（共助）・公助を基本とし、県民・自主防災組織・消防団・行政が一体となって地域に身近な防災減災対策を推進する必要があります。

しかしながら、ひとたび大災害が発生すると、公助を担う行政・消防等は関係機関との調整や情報収集、被害の大きな地域の救助等に追われ、十分な対応が困難となることが予想されることから、被災現場の初期対応には、自助と互助（共助）の実践力が非常に重要となります。

本書は地域防災の一端を担う自主防災組織を対象としたアンケート調査により収集した活動事例のとりまとめとなっております。ご協力いただいた自主防災組織と市町・消防関係者の皆様に感謝を申し上げますとともに、本書が各地域の自主防災組織をはじめとしたコミュニティの活動活性化や新たな組織結成の一助となれば幸甚です。

私たちのふるさと栃木県は、大規模な災害が少ない県と言われている。しかし、過去には、茂木水害をはじめとする豪雨、洪水、竜巻等による甚大な被害を受けた経験を持つ。また、東日本大震災では、県内においても震度六強を観測し、尊い人命や貴重な財産が失われたほか、福島第一原子力発電所の事故は、今なお社会生活や経済活動に申告な影響を及ぼしている。

県ではこれらの過去の災害の教訓を踏まえ、様々な防災対策を進めているが、災害が発生した場合における被害を最小化し、その迅速な回復を図るためには、行政による防災対策に加え、県民一人一人が真剣に災害に備え、防災対策に取り組むことが必用である。さらに、地域の住民、学校、企業が、平時から共に地域の特性に応じた防災対策を推進すること、また、災害時には共に災害の拡大や復旧に取り組むこと等、地域における多様な主体が連携協力して災害に対応する能力をたかめていくことが重要である。

（災害に強いとちぎづくり条例 附則より抜粋）

<本書の活動事例（P1~26）について>

- ・市町ごとに類似した活動事例の一部をまとめて掲載しています。組織の項で「他〇組織」と記載がある場合は1つの組織で全ての活動事例を実施しているわけではございません。
- ・本書に係るアンケート調査にご回答をいただいた各組織の一覧を P27~28 に掲載しています。

●各自主防災組織の活動事例一覧表(活動の概要)

市町名	組織又は地域名	取り組み概要	ページ
宇都宮市	泉が丘地区自主防災会 他38組織	防災訓練	1-2
〃	明保地区防災会	防災のしおり作成	2
〃	東地区自主防災会	田川の共同点検と地域防災講習会	3
〃	桜地区自主防災会	防火パトロール	3
足利市	各防災会(全222組織)	地区単位の防災訓練	4
栃木市	高取自治会自主防災会 他4組織	防災資機材等の整備・点検	5
〃	合戦場自治会安全委員会 防犯防災パトロール隊	防災パトロール	5
佐野市	葛生倭町自主防災会 他8組織	防災訓練	6
鹿沼市	菊沢地域	防災イベント	7
〃	粟野地域	〃	8
〃	三幸町自主防災会 他5組織	防災訓練	9
日光市	稻荷町1丁目自主防災会 他5組織	〃	10
〃	平成町自主防災会	会報誌作成	11
〃	千本木自主防災会	通学路の清掃整備	11
小山市	大字間々田自主防災会	防災訓練	12
〃	〃	防災資機材等の整備・点検	13
〃	〃	要援護者リスト・マップの作成	13

市町名	組織又は地域名	取り組み概要	ページ
真岡市	東郷自主防災組織	防災訓練	14
矢板市	高原行政区 他1組織	防災訓練	15
〃	つつじが丘自主防災会	防災資機材等の整備・点検	15
大田原市	赤堀西自主防災会 他1組織	防災訓練・講話	16
那須塩原市	沓掛新田自治会自主防災会 他1組織	防災グッズ普及	16
〃	関谷下田地区自主防災連絡会 (旭町自治会自主防災会 他3組 織)	防災訓練	17
さくら市	フォーレ喜連川自主防災組織 他3組織	〃	18
那須烏山市	小倉自主防災会 他3組織	〃	19-20
〃	宮原自治会自主防災会	避難マップ作成	20
〃	横枕地区自主防災会	防災資機材の整備・点検	21
益子町	新町自主防災組織	防災訓練	21
茂木町	茂木町茂木地区(54行政区)	〃	22
壬生町	六美町北部自治会ワンワン防災会	〃	23
野木町	野木自主防災協議会 他2組織	〃	24
〃	新橋区自主防災協議会	要援護者リスト・マップの作成	25
〃	丸林自衛消防防災会	防災資機材等の整備・点検と地域巡回	25
高根沢町	太田地区自主防災組織	防災訓練	26
那須町	ロイヤルバレー自治会	消火器・消火栓等の点検	26

●宇都宮市（１）

（１）組 織：泉が丘地区自主防災会 他 3 8 組織

（２）活 動：防災訓練

（３）実施時期：年に 1 回

（４）場 所：学校・コミュニティセンター・市民センター・公園等

（５）内 容

①避難誘導訓練

- ・ 一時避難所に避難して人員を確認してから訓練会場に避難した。
- ・ 避難の際にリアカーや車いす等の資機材を使用した。
- ・ 広報車による避難誘導を実施した。
- ・ 教師から保護者への生徒引き渡し等の訓練を行っている。
- ・ 避難する時間帯を昼夜の 2 部構成で行っている。
- ・ 避難する際、避難所までの道路状況や危険箇所の確認を行った。
- ・ 高所からの避難を想定し、梯子車の搭乗体験を行った。

②情報伝達訓練

- ・ 口頭での声かけのほか、自治会に整備された防犯無線等の資機材を活用して住民に情報を伝達した。
- ・ 消防や警察への災害状況報告の訓練等を実施した。
- ・ 雨天等による訓練中止の場合、訓練の一環として訓練中止の知らせは連絡網を利用して伝達する。

③初期消火訓練

- ・ 消防職員指導のもと消火器の操作方法の確認と水消火器を扱う訓練を実施。
- ・ バケツリレーによる放水やプールからの取水を訓練した。

④応急救護訓練

- ・ 消防職員指導のもと応急手当や機材の操作方法等について学んだ。
- ・ ケガ人の搬送を想定し、毛布等の身近なもので作成した簡易担架を使った搬送訓練も行っている。
- ・ 消防による救助訓練のデモンストレーションを実施した。

- ⑤資機材取り扱い訓練
 - ・ 消防職員等指導のもと消火器・チェーンソー・担架・ロープ・トランシーバー等の取り扱いを確認した。
 - ⑥簡易水防工法訓練
 - ・ 消防職員等指導のもと、水害時の予防として、土嚢の作成方法と土嚢の積み方を学んだ。
 - ⑦給水給食訓練
 - ・ 婦人防火クラブによる炊き出しを実施した。
 - ⑧ポンプ操法
 - ・ 消防団によるポンプ操法のデモンストレーションを披露した。
 - ⑨被災体験
 - ・ テント等を利用した煙避難体験や、起震車による地震体験を実施。
- (6) 活動のポイント
- ・ 関係団体（市・消防本部・消防団・警察・婦人防火クラブ・学校・病院・民間企業等）と協力して活動している。
 - ・ 夜間の避難誘導や要援護者の搬送等のケースを想定している。

●宇都宮市（2）

- (1) 組 織：明保地区防災会
- (2) 活 動：防災のしおり作成
- (3) 実施時期：平成28年に作成
- (4) 内 容
- ・ 災害時の安全策・危機回避のポイント・連絡体制・避難所・災害時要援護者支援等の情報のほか、市高齢対策課が所管する「高齢者見守り安心ネットワーク」のシステムの紹介も掲載している。
 - ・ 完成した防災のしおりは自治会の役1，400世帯に配布した。
- (5) 活動のポイント
- ・ 関係団体（市・明保地区明るいまちづくり協議会等）と協力して活動している。

●宇都宮市（3）

- （1）組 織：東地区自主防災会
- （2）活 動：田川の共同点検と地域防災講習会
- （3）実施時期：平成28年の8月に実施
- （4）場 所：田川・東地域コミュニティセンター
- （5）内 容
 - ・ 平成27年9月の関東・東北豪雨により、田川の水量が危険水位に達したことを踏まえて、水害対策の一環として実施。
 - ・ 県宇都宮土木事務所の職員と共に田川の遊歩道を視察し、危険箇所の確認を実施後、水害に関する講習会を開催して「県内の雨量及び河川水位情報・水害発生時の避難」等について学んだ。
- （6）活動のポイント
 - ・ 関係団体（市・県・消防本部・消防団等）と協力して活動している。
 - ・ 現地を確認することで具体的な被害想定のもと対策を検討できる。

●宇都宮市（4）

- （1）組 織：桜地区自主防災会
- （2）活 動：防火パトロール
- （3）実施時期：毎月1回、夜間に1時間
- （4）内 容
 - ・ 防火防災の意識向上のためのパトロールで、4～5名で区域内の巡回を実施している。地域の住民への声かけ等のコミュニケーションもとっている。
- （5）活動のポイント
 - ・ 声かけ等により地域コミュニケーションの促進が見込める。

●足利市

(1) 活 動：各防災会単位での防災訓練（平成 28 年 4 月時点で 222 組織）

(2) 実施時期：5～6年に一度で毎年4～5地区で開催

(3) 内 容

①避難誘導訓練

- ・ 各住民が自主的に一時避難所まで参集のうえ、訓練会場の避難所（指定されている小中学校等）まで避難する。

②炊き出し訓練

- ・ ハイゼックス炊飯や汁物を調理して実食する。

【ハイゼックス炊飯とは??】

沸騰したお湯の中でも有害物質を出さない強化ポリエチレンの袋を利用した炊飯方法。

災害時に最小限の材料で炊き出しができ、持ち運びに便利かつ食器や箸が不要。

避難時に手が汚れてしまった状況でも衛生面を確保できる。

③応急救護訓練

- ・ 消防職員指導のもと、応急手当や AED 等の機器の操作方法等について学んだ。

④ハザードマップ説明

- ・ 市職員指導のもと、を、地域災害リスクや指定避難所等、防災に関する知識を深めた。

(4) 活動のポイント

- ・ 訓練計画は、住民が主体となって作成している。自分たちで考えることで自助・共助等の防災意識が醸成されている。
- ・ 5～6年に一度の訓練終期を設定することで、年間4～5地区で計画的に訓練を実施している。
- ・ 関係団体（市、消防本部、消防団、学校等）と協力して活動している。

●栃木市（1）

- （1）組 織 名：高取自治会自主防災会 他4組織
- （2）活 動：防災資機材等の整備・点検
- （3）実施時期：資機材点検は年に2回（5・10月）
- （4）場 所：学校・公民館・コミュニティセンター等
- （5）内 容
 - ①資機材等整備
 - ・ 発電機、コードリール、テント、非常用持ち出し袋、消火器、ヘルメット、乾パンなどを避難所である公民館・コミュニティセンター等に保管している。
 - ②資機材の点検
 - ・ 高取自治会自主防災会では、平成28年5・10月に資機材の点検を実施。
- （6）活動のポイント
 - ・ 資機材を整備するだけでなく、点検を定期的に行っている。
 - ・ 地域の実情に合った資機材整備を行っている（嘉右衛門町自主防災会は活動範囲内に存在する伝統的建造物の保護のために消火器を整備している。）

●栃木市（2）

- （1）組 織 名：合戦場自治会安全委員会防犯・防災パトロール隊
- （2）活 動：防災パトロール
- （3）実施時期：毎月1回夜間に実施
- （4）内 容
 - ・ 活動区域内の消火栓の確認等の防災パトロール。
- （5）活動のポイント
 - ・ 夜間の安全確保のために反射板付の視認性の高いベストを着用している。

●佐野市

(1) 組織：葛生倭町自主防災会 他 8 組織

(2) 活動：防災訓練

(3) 実施時期：各組織年に一回

(4) 場所：学校・公民館・コミュニティセンター・公園等

(5) 内容

①初期消火訓練

- ・ 消防職員指導のもと、消火器の操作方法の確認と水消火器を利用した訓練を実施している。

②応急救護訓練

- ・ 消防職員指導のもと、応急手当や AED 等の機器の操作方法等について学ぶ。

③避難誘導訓練

- ・ 各住民が自主的に一時避難所まで参集のうえ、訓練会場の指定避難所まで避難する。
- ・ 避難者個別カードによる避難者の安否確認、また、保護者への生徒引渡訓練などを行っている。

④炊き出し訓練

- ・ 佐野市から非常用備蓄食料の配布を実施している。

⑤防災講話

- ・ 市職員を講師として招き、地域災害リスクや指定避難所等、防災に関する知識を深める。

(6) 活動のポイント

- ・ さのまるを訓練に招くことにより、市民の訓練参加を促進している。
- ・ 関係団体（防本部、消防団、学校等）と協力して活動している。
- ・ 地域の行事に併せて活動している。

●鹿沼市（1）

（1）地域名称：菊沢地域

（2）活動：防災体験大作戦（菊沢きずなプロジェクト）

（3）実施時期：年に1回

（4）場所：鹿沼市菊沢コミュニティセンター

（5）内容

① 防災グッズづくり

- ・ 新聞紙スリッパ、防災ランタン、ポンチョなど、身近なものを使った工作を行う。

② 応急手当講習会

- ・ 消防本部職員等指導のもと、応急手当や AED 等の機器の操作方法等について学ぶ。

③ レスキューチャレンジ

- ・ 水平に貼ったロープを渡るなど、様々な障害物を乗り越えるこども用のアトラクション。

④ 消火体験

- ・ 粉末消火器や消防ポンプ車を使った消火体験。

⑤ 被災体験

- ・ テント等を利用した煙避難体験や、起震車による地震体験を実施。

⑥ レスキューショー

- ・ 消防職員によるデモンストレーションを実施。

⑦ 避難所体験

- ・ コミュニティセンターでの1泊体験研修。段ボールによるパーティーション作成や非常食体験、防災講話などを実施。

（6）活動のポイント

- ・ 関係団体（消防本部、消防団、食生活改善推進委員会等）と協力して活動している。

●鹿沼市（2）

（1）地域名称：栗野地域

（2）活 動：栗野防災フェア in2017（栗野アイデア会議）

（3）実施時期：年に1回

（4）場 所：鹿沼市栗野コミュニティセンター

（5）内 容

① 防災グッズづくり

- ・ 新聞紙スリッパ、防災ランタン、ポンチョなど、身近なものを使った工作を行う。

② 応急手当講習会

- ・ 消防本部職員等指導のもと、応急手当や AED 等の機器の操作方法等について学ぶ。

③ 消火体験

- ・ 粉末消火器や消防ポンプ車を使った消火体験を実施。

④ 非常食試食

- ・ 非常食のアルファ米とカレーを提供。

⑤ 被災体験

- ・ テント等を利用した煙避難体験や、起震車による地震体験を実施。

⑥ 消防車両展示・防災服試着

- ・ 消防車両への搭乗体験や記念撮影を実施。

⑦地域の防災マップ作成

- ・ 広域の鹿沼市防災マップよりも地域に密着した地元の人が扱いやすい防災マップを作成した。

（6）活動のポイント

- ・ 関係団体（消防本部、消防団、食生活改善推進委員会等）が協力して活動している。
- ・ 自主防災組織未結成地域におけるソフト面からの組織立ち上げのきっかけとなった。

●鹿沼市（3）

（1）組 織：三幸町自主防災会 他5組織

（2）活 動：防災訓練

（3）実施時期：年に一回

（4）場 所：学校・自治会館等

（5）内 容

①避難誘導訓練

- ・ 市からの災害情報メール受信後、各自主防災組織の連絡網を活用し、住民の避難を実施。

②初期消火訓練

- ・ 消防職員指導のもと、消火器の操作方法を確認と水消火器を扱う訓練を実施した。

③炊き出し訓練

- ・ 炊き出しのほか、非常食の配布を行っている。

④飲料水供給訓練

- ・ 自主防災組織が所有する飲料水兼用耐震性貯水槽を利用して飲料水の給水を行う。

（6）活動のポイント

- ・ 小藪4町では同時刻に各自主防災会が訓練を実施している。
- ・ みなみ町自主防災会では、役職を当番制にしており、町内の全世帯が何かしらの役割を経験できるようにしている。
- ・ 関係団体（消防本部、消防団、市水道部、民生員学校等）と協力して活動している。
- ・ 訓練時に整備された資機材を活用している。

●日光市（1）

（1）組 織：稲荷町1丁目自主防災会 他5組織

（2）活 動：防災訓練

（3）実施時期：年に一回

（4）場 所：学校・公民館・公園等

（5）内 容

①避難誘導訓練

- ・ 同居家族の安否確認と隣人の安否確認を行ったうえで声を掛け合って避難を行う。避難後は住民の避難状況の確認を行う。

②初期消火訓練

- ・ 消防職員による指導のもと消火器の操作方法の確認と水消火器を利用した訓練を実施した。
- ・ バケツリレーによる消火訓練も併せて行った。

③救出・救護訓練

- ・ 消防職員等による指導のもと、応急手当やAED等の機器の操作方法を学び、人員の搬送等を訓練する。

④炊き出し訓練

- ・ 豚汁などを調理して実食。

⑤災害対策本部設置訓練

- ・ 住民の避難状況の集約や避難指示の発信を訓練。

（6）活動のポイント

- ・ 稲荷町では、3つの自主防災会が協議のうえ役割分担・訓練計画作成・住民への参加要請を行い、訓練を実施している。
- ・ 関係団体（消防本部、消防団、福祉協議会、警察署、女性の会、長生会、育成会等）と協力して活動している。
- ・ 訓練に併せて防災以外の講演会や参加者へのプレゼントなどを行うことでさらなる参加促進を図っている。
- ・ 地域の行事に併せて活動している。

●日光市（2）

（1）組 織：平成町自主防災会

（2）活 動：会報誌（へいぼう便り）の作成

（3）実施時期：年に3回

（4）内 容

地域防災の意識高揚と情報伝達及び共有を目的とした会報を自治会全世帯に回覧し、公民館の掲示板に表示している。

（5）活動のポイント

- ・ 文字は大きく、写真を入れて視覚的に注意を引くようにしている。
- ・ 文章は要点のみとし、共助に関わる内容を必ず記載している。

●日光市（3）

（1）組 織：千本木自主防災会

（2）活 動：通学路の清掃整備

（3）実施時期：年に1回

（4）内 容

- ・ 学生の通学路にもなっている国道121号線の雑木や杉並木の垂れ枝の整備を街づくり推進協議会や近隣住民と協力して実施している。
- ・ 運転手の視界確保や不審車両の滞留の防止を目的としている。

（5）活動のポイント

- ・ 関係団体（県・日光東照宮等）と協力して活動している。
- ・ 地域の行事に併せて活動している。

●小山市（1）

（1）組 織：大字間々田自主防災会

（2）活 動：防災訓練

（3）実施時期：年に1回

（4）実施場所：小山市間々田市民交流センター

（5）内 容

① 情報伝達・避難訓練

- ・ 避難場所までの異動、避難後の状況確認などを実施。

② 被災体験

- ・ テント等を利用した煙避難体験や起震車による地震体験を実施。

③ 初期消火訓練

- ・ 消防職員指導のもと、消火器の操作方法を確認と訓練用水消火器を利用した訓練を実施。
- ・ 油鍋の出火への対処や消防車による放水を実施。

④ 応急救護訓練

- ・ 消防職員指導のもと、倒壊建物からの被災者救助・応急手当や AED 等の機器の操作方法等について学ぶ。

⑤ 簡易水防工法訓練

- ・ ゴミ袋など、身近にあるものを利用した水防工法を学ぶ。

⑥ 防災グッズづくり

- ・ 新聞紙スリッパ等、身近にあるものを利用した防災グッズを作成。

⑦ 被災者による講話

- ・ 被災経験がある自主防災会の会長による講話を実施。

（6）活動のポイント

- ・ 関係機関（市・消防本部・消防団・自治協議会・公民館・老人会クラブ協議会等）と協力して活動している。
- ・ 被災者の講話等を行うことで防災における当事者意識の向上を図っている。

●小山市（2）

- （1）組 織：大字間々田自主防災会
- （2）活 動：防災資機材の整備と点検
- （3）実施時期：点検は年3回
- （4）内 容
 - ・別の場所2箇所を設置した防災倉庫でランタンラジオ・合図灯・トランシーバー等の防災資機材を保管している。
 - ・老人ホームの運動会と地域の祭にて防災資機材を利用することで、防災資機材の点検も兼ねている。
- （5）活動のポイント
 - ・関係機関（市・消防本部・消防団・学校・公民館等）と協力して活動している。
 - ・地域の行事に併せて活動を実施している。
 - ・行事開催時に家具転倒防止金具等の実用性がある防災グッズを配布している。

●小山市（3）

- （1）組 織：大字間々田自主防災会
- （2）活 動：要援護者のリスト・マップ等の作成
- （3）実施時期：点検及び修正は毎年
- （4）内 容
 - ・大字間々田自主防災会は8自治会役2,700世帯で構成されている自主防災会で、各自治会のリーダーが住宅地図に避難所、避難経路、危険箇所等の必要な情報を記載して情報を共有している。
 - ・要援護者のリストは、民生委員、自治会、老人会と協働で作成している。
- （5）活動のポイント
 - ・関係機関と協力して活動している。

●真岡市

(1) 組 織：東郷自主防災組織

(2) 活 動：防災訓練

(3) 実施時期：年に1回

(4) 場 所：公民館

(5) 内 容

① 避難訓練

- ・ 要支援者の安否確認をはじめとした情報収集を行う。

② 給水訓練

- ・ 井戸水のくみ上げによる給水を実施。

③ 初期消火訓練

- ・ 訓練用の水消火器を利用した訓練で、消防職員指導のもと消火器の操作方法を確認する。また、バケツリレーや三角バケツを利用した訓練も実施。

【三角バケツとは??】

三角バケツとは、部屋の隅に置いても邪魔にならず倒れにくいよう開発されたバケツで、内部には仕切りがある。一回の投水で全部の水が出ないようにつくりになっているので、数回に分けて水をかけることができる。

④ 応急救護訓練

- ・ 消防職員による指導のもと、応急手当やAED等機材の操作方法等について学ぶ。
- ・ 簡易担架による人員搬送を実施した。

⑤ 炊出訓練

(6) 活動のポイント

- ・ 関係機関（消防本部・消防団等）と協力して活動している。

↓三角バケツ



●矢板市（１）

- （１）組 織：高原行政区 他 1 組織
- （２）活 動：防災訓練
- （３）実施時期：年に 1 回
- （４）場 所：公民館
- （５）内 容
 - ① 消火訓練
 - ・ 消防職員指導のもと、消火器の操作方法の確認と訓練用消火器を使って訓練を実施。
 - ・ バケツリレー等による消火訓練を実施。
 - ② 応急救護訓練
 - ・ 消防職員指導のもと、応急手当や AED 等の機器の操作方法について学ぶ。
 - ・ 簡易担架による人員搬送の訓練を実施。
 - ③ 炊出訓練
 - ・ 非常食の試食を実施。
 - ④ 資機材利用訓練
 - ・ 整備された資機材の利用方法を確認する。
- （６）活動のポイント
 - ・ 関係機関（市・消防本部等）と協力して活動している。

●矢板市（２）

- （１）組 織：つつじが丘自主防災会
- （２）活 動：資機材の点検
- （３）実施時期：年に 1 回
- （４）場 所：コミュニティセンター・公園等
- （５）内 容
 - ・ ごみゼロ一斉清掃活動後、整備された各種資機材の使用方の説明と点検を実施している。
 - ・ 主な資機材はハンディメガホン・ハンディキャリー・発電機・投光器で、一連の使用方に合わせて使用上の注意点も説明している。
- （６）活動のポイント
 - ・ 地域の行事に併せて活動している。

●大田原市

- (1) 組織：赤堀西自主防災会 他 1 組織
- (2) 活動：防災訓練・講話
- (3) 実施時期：年に 1 回
- (4) 場所：公民館
- (5) 内容
 - ① 消火訓練
 - ・ 消防職員指導のもと、消火器の操作方法等を確認のうえ、水消火器を利用した訓練を実施。
 - ② 防災講話
 - ・ 市職員を講師として招き、地域災害リスクや指定避難所等、防災に関する知識を深める。
 - ③ 炊出訓練
 - ・ 昼食を兼ねた炊き出しを参加者に提供。
 - ④ 防災グッズ作成
 - ・ 新聞紙スリッパ等、身近なものを使った防災グッズの工作を行う。
- (6) 活動のポイント
 - ・ 関係機関（市・消防本部・防災士会等）と協力して活動している。

●那須塩原市（1）

- (1) 組織：杓掛新田自治会自主防災会 他 1 組織
- (2) 活動：防災グッズの普及
- (3) 実施時期：不定期
- (4) 内容
 - ・ 自主防災会で防災ガイドブックや非常用持出袋（袋のみ）を購入し、地域内の全戸配布を実施した。
 - ・ 豊浦町自治会自主防災会の非常用持ち出し袋の全戸配布は読売新聞に取り上げられており、住民の防災意識の高揚に繋がった。
- (5) 活動のポイント
 - ・ 自治会費を利用して住民の自助を促進するきっかけづくりをしている。

●那須塩原市（２）

- (1) 組 織：関谷下田地区自主防災連絡会
(旭町自治会自主防災会 他 3 組織)
- (2) 活 動：防災訓練
- (3) 実施時期：年に 1 回
- (4) 内 容
- ① 応急救護訓練
 - ・ 消防職員指導のもと、応急手当や AED 等の機器の操作方法等について学ぶ。
 - ② 簡易水防工法訓練
 - ・ 消防職員指導のもと、土嚢を作成のうえ積み上げ等を訓練した。作成した土嚢は市の倉庫に保管している。
 - ③ 炊出訓練
 - ・ ハイゼックス炊飯等による炊き出し調理と実食を行った。
 - ④ 避難箇所の説明
 - ・ 消防職員等から防災に係るチラシを配布のうえ、地域災害リスクや指定避難所等、防災に関する説明が行われた。
- (5) 活動のポイント
- ・ 関係団体（消防本部・消防団・社会福祉協議会等）と協力して活動している。
 - ・ 近隣の自主防災組織で連絡会を形成して協力して活動している。

●さくら市

(1) 組織：フォーレ喜連川自主防災組織 他 3 組織

(2) 活動：防災訓練

(3) 実施時期：年に 1 回

(4) 場所：自治公民館・公園等

(5) 内容

フォーレ喜連川自主防災会は平成 27 年度の組織発足後の初訓練で、回覧や地域の CATV で告知はしたが、事前の出欠確認はとらずに告知のみでどれだけ参加者が集まるか調査した。

① 避難誘導訓練

- ・ 消防団が避難所の公民館までの誘導を実施し、徒歩での避難に要する時間や避難経路等を確認した。
- ・ 要避難者の避難誘導方法を検討して次回の訓練に活かしていく。

② 消火訓練

- ・ 消防職員指導のもと消火器の操作方法を確認と訓練を実施。

(6) 活動のポイント

- ・ 関係団体（市・消防本部・消防団等）と協力して訓練を実施している。
- ・ 次回の活動に向けての目標を設定している。

●那須烏山市（1）

（1）組 織：小倉自主防災会 他 3 組織

（2）活 動：防災訓練

（3）実施時期：年に 1 回

（4）場 所：社寺・公園・公民館・役所・学校等

（5）内 容

①避難訓練

- ・ お年寄りや体の不自由な人たちには目印の安心カードをあらかじめ配布して、カード所有者を優先して避難させる。
- ・ 自治会長と各地区の班長で全戸への連絡確認のうえ、第 1 と第 2 避難所への避難を実施。

②初期消火訓練

- ・ 消防職員等指導のもと訓練用消火器を使って消火器の操作方法の確認訓練を実施。

③簡易水防工法訓練

- ・ 消防職員等指導のもと土嚢つくりを実施。

④応急救護訓練

- ・ 消防職員指導のもと応急手当や AED 等の機器の操作方法について学ぶ。



↑大木須自主防災組織の訓練

⑤被災体験

- ・ テント等を利用した煙避難体験を実施。

⑥炊き出し訓練

- ・ 豚汁、おにぎり、カレー等の炊き出しを実施。

(6) 活動のポイント

- ・ 関係機関（市・消防本部・消防団・警察・学校・育成会・女性会等）と協力して活動している。
- ・ 自主防災組織の役割（隊長・副隊長・応急救護班・避難誘導班・給食給水班・消火班など）を分担している。
- ・ 訓練後に意見交換会を実施している。

●那須烏山市（2）

(1) 組 織：宮原自治会自主防災会

(2) 活 動：避難マップの作成

(3) 実施時期：年に1回

(4) 場 所：公民館

(5) 内 容

- ・ 宮原地区が那珂川沿いにあるため、台風等の災害時に河川氾濫による水害が見込まれる。水害対策には早期避難が重要であり、災害発生時に速やかに避難できるように避難経路等を確認している。
- ・ 一人暮らしの世帯に対しても隣近所が声かけを行うようにしている。

(6) 活動のポイント

- ・ 関係機関（市・消防本部・消防団等）と協力して活動している。
- ・ 地域の実情に合った防災対策を実施している。
- ・ 組織に所属していない世帯の避難誘導を想定している。

●那須烏山市（3）

- （1）組 織：横枕地区自主防災会
- （2）活 動：防災資機材の点検
- （3）実施時期：2～3年に1回
- （4）場 所：横枕文化伝承センター

（5）内 容

- ・ 夏祭り等の地域行事や消防団の点検時に発電機をはじめとした防災資機材の稼働点検を実施している。

（6）活動のポイント

- ・ 関係団体（市・消防本部・消防団等）と協力して活動している。
- ・ 地域の行事に併せて活動している。

●益子町

- （1）組 織：新町自主防災組織
- （2）活 動：防災訓練
- （3）実施時期：年に1回
- （4）場 所：新町屋台パーク等

（5）内 容

① 避難誘導訓練

- ・ 声かけで訓練会場までの避難誘導を実施。

② 消火訓練

- ・ 消防職員等指導のもと消火器の操作方法を確認と訓練を実施。消火栓点検も併せて実施。

③ 炊出訓練

- ・ 豚汁を調理のうえ実食。

（6）活動のポイント

- ・ 関係団体（町・消防本部・消防団等）と協力して活動している。
- ・ 益子町の防災訓練に併せて実施している。

●茂木町

(1) 組織：茂木町茂木地区（54行政区）

(2) 活動：防災訓練

(3) 実施時期：年に1回（8月5日の町民防災の日）

(4) 場所：茂木町民体育館

(5) 内容

① 避難誘導訓練

- ・ 地区ごとに集合場所を設定し、集合後は車の乗り合わせで避難所まで避難した。

② 防災講演

③ 防災に係る展示の見学

④ 被災体験

(6) 活動のポイント

- ・ 関係団体（町・社会福祉協議会・警察・消防本部・消防団等）と協力して活動している。



↑ 訓練の様子

●壬生町

(1) 組織：六美町北部自治会ワンワン防災会

(2) 活動：防災訓練

(3) 実施時期：年に1回（10月末頃）

(4) 場所：壬生町立睦小学校

(5) 内容

① 避難誘導訓練

- ・ 防災行政無線による通報から一時避難所へ集合して安否確認を実施。
- ・ 一時避難後は、避難所の小学校へ移動する。小学校に到着後、地区班長から防災会長への人員報告を行う。

② 応急救護訓練

- ・ 消防職員指導のもと応急手当や機材の操作方法等について学ぶ。

③ 初期消火訓練

- ・ 消防職員等指導のもと火器の操作方法を確認し、粉末消火器と水消火器による消火訓練を実施した。

④ 給水給食訓練

- ・ カレー、すいとん、炊飯（400名分）を調理して実食。

⑤ 被災体験

- ・ テント等を利用した煙避難体験を実施。

⑥ イベント

- ・ 消防車両搭乗体験、ロープ結束体験、バケツリレー競技、伝言ゲーム、福引き抽選会などを実施。

(6) 活動のポイント

- ・ 関係団体（町・消防本部・消防団・病院等）と協力して活動している。
- ・ ゲーム性のある催し物等を行うことで、楽しみながら防災を学ぶことができる。

●野木町（1）

（1）組 織：野木自主防災協議会 他2組織

（2）活 動：防災訓練

（3）実施時期：年に1回

（4）場 所：小学校校庭等

（5）内 容

① 避難誘導訓練

- ・ 声かけ等で訓練会場までの避難誘導を実施。

② 情報伝達訓練

- ・ 電話、戸別訪問等による情報伝達訓練を実施。

③ 初期消火訓練

- ・ 消防職員指導のもと消火器の操作方法の確認と水消火器を扱う訓練を実施。

④ 応急救護訓練

- ・ 消防職員指導のもと応急手当や機材の操作方法等について学んだ。

⑤ 炊出訓練

- ・ 民生員協力のもと炊き出しで芋煮を調理して実食した。

⑥ ポンプ操法

- ・ 消防団によるポンプ操法のデモンストレーションを披露。

⑦ 被災体験

- ・ テント等を利用した煙避難体験や、起震車による地震体験を実施。

（6）活動のポイント

- ・ 関係団体（町・消防本部・消防団・警察・学校等）と協力して活動している。

●野木町（2）

- (1) 組織：新橋区自主防災協議会
- (2) 活動：要配慮者リスト・マップの作成
- (3) 実施時期：平成28年度末に作成後、毎年更新予定
- (4) 内容
 - ・ リストに掲載されている要配慮者それぞれに対して避難援助者を設定し、訓練時はペアでの歩行訓練等を行っている。
 - ・ 歩行が難しい場合は、車いす・リヤカー・車いす搬送用リフト車・小型バス等の移動手段をあらかじめ設定している。
 - ・ リストとマップは全戸に配布しており、民生・児童委員の定例会や区役員・自治会長会議等でも普及啓発を行っている。
- (5) 活動のポイント
 - ・ 関係団体（町・民生委員会・児童委員・社会福祉協議会等）と協力して活動している。
 - ・ リストとマップ配布する際、「見やすい場所に設置する」など、いつでもすぐ利用できるようお願いしている。

●野木町（3）

- (1) 組織：丸林自営消防防災会
- (2) 活動：防災資機材の点検と地域巡回
- (3) 実施時期：資機材点検は年4回・地域巡回は年12回実施
- (4) 内容
 - ①防災資機材の点検
 - ・ 防災資機材がいつでも稼働できるように年4回の頻度で点検を実施している。
 - ・ 点検の際は必ず資機材を稼働させている。
 - ・ また、放水器具を点検する際は、地域の防火水槽から水利を確保することで防火水槽の点検も兼ねている。
 - ②地域巡回
 - ・ 一年をとおして毎月実施しており、各家庭での防火意識の啓蒙と日頃から近隣住民の相互扶助の精神を普及啓発している。
- (5) 活動のポイント
 - ・ 関係団体（町・消防本部・消防団等）と協力して活動している。

●高根沢町

- (1) 組織：太田地区自主防災組織
- (2) 活動：防災訓練
- (3) 実施時期：年に1回（平成28年8月）
- (4) 場所：高根沢町立東小学校
- (5) 内容
 - ① 避難誘導訓練
 - ・ 地区内において避難勧告が発令された想定で、拠点避難所となっている小学校までの避難と避難所の立ち上げを実施した。
 - ・ 避難要援護者の搬送も併せて実施しており、自力での避難が難しい方は避難誘導で巡回中の消防ポンプ車で避難所まで搬送した。
 - ② 炊出訓練
- (6) 活動のポイント
 - ・ 関係団体（町・消防本部・消防団・警察・社会福祉協議会等）と協力して活動している
 - ・ 避難要援護者の避難手段を確保している。

●那須町

- (1) 組織：ロイヤルバレー自治会
- (2) 活動：消火器・消火栓等の点検
- (3) 実施時期：年に1回（秋頃）
- (4) 内容
 - ① 消火器点検
 - ・ 消防職員による指導のもと、消火器の操作方法と設置されている消火器の確認を行った。
 - ② 救命救急講習
 - ・ 消防職員指導のもと応急手当や機器の操作方法等について学んだ。
 - ③ 消火栓からの放水点検
 - ・ 消防職員指導のもと活動区域内の消火栓が使用できるか点検を実施した。
- (5) 活動のポイント
 - ・ 関係団体（消防本部等）と協力して活動している
 - ・ 実施箇所を毎年変えて活動している。

●アンケート調査にご協力いただいた組織一覧

市町名	組織又は地域名	活動
宇都宮市	泉が丘地区自主防災会	防災訓練
"	城東防災会	"
"	御幸ヶ原地区防災会	"
"	西地区防災会	"
"	錦地区防災会	"
"	峰地区防災会	"
"	今泉地区防災会	"
"	宮の原地区防災会	"
"	豊郷地区防災会	"
"	陽東地区自主防災会	"
"	宝木地区防災会	"
"	富士見地区防災会	"
"	昭和地区自主防災会	"
"	築瀬地区自主防災会	"
"	五代若松原地区	"
"	陽南地域自主防災会	"
"	緑が丘地区防災会	"
"	横川地区防災会	"
"	城山地区連合自治会防災会	"
"	雀宮地区防災会	"
"	細谷地域災害対策本部	"
"	篠井地区防災会	"
"	戸祭地区まちづくり協議会防災部会	"
"	清原地区防災会	"
"	富屋地区防災会	"
"	陽光地区防災会	"
"	明保地区防災会	防災訓練・防災のしおり作成
"	姿川地区防災会	防災訓練
"	平石地区まちづくり協議会防災福祉ネットワーク	"
"	石井地区防災会	"
"	河内地区防災会	"
"	上河内地区防災会	"
"	東地区自主防災会	防災訓練・田川共同点検と地域防災講習会
"	宇都宮中央地区防災会	防災訓練
"	御幸地区自主防災会	"
"	桜地区自主防災会	防災訓練・防火パトロール
"	西原地区防災会	防災訓練
"	国本地区防災会	"
"	瑞穂野地区防災会	"
足利市	各防災会(222組織)	防災訓練
栃木市	箱森東部自治会自主防災会	防災資機材等整備
"	東小野口自治会自主防災会	"
"	嘉右衛門町自主防災会	"
"	万町一丁目東自治会・自主防災部	"
"	祝町自治会自主防災会	防災訓練
"	合戦場自治会安全委員会防犯防災パトロール隊	防災パトロール
"	高取自治会自主防災会	防災資機材等整備・点検
佐野市	大橋町(市街部)	防災訓練
"	寺久保町防災会	"
"	町沼下町役員研修会	"
"	葛生倭町自主防災会	"
"	閑馬上町・下町自主防災会	"
"	若宮上町自主防災会	"
"	栃本上町・栃本下町自主防災会	"
"	山形町自主防災会	"
"	正雲寺町防災会	"
鹿沼市	みなみ町	防災訓練
"	栗野地域	防災イベント
"	三幸町自主防災会	防災訓練

市町名	組織又は地域名	活動
鹿沼市	麻芋町自主防災会	防災訓練
"	西鹿沼町自主防災会	"
"	日吉町自主防災会	"
"	府中町	"
"	菊沢地域	防災イベント
日光市	千本木自主防災会	防災訓練・通学路の清掃整備・指針作成
"	自由ヶ丘自主防災会	防災訓練
"	平成町自主防災会	防災訓練・会報誌作成
"	稲荷町1丁目自主防災会	"
"	稲荷町2丁目自主防災会	"
"	稲荷町3丁目自主防災会	"
小山市	大字間々田自主防災会	防災訓練・要援護者リストとマップ作成・防災資機材の整備点検
真岡市	東郷自主防災組織	防災訓練
矢板市	高原行政区	"
"	コロナ矢板自治会	"
"	つつじが丘自主防災会	防災資機材の整備点検
大田原市	赤堀西自主防災会	防災訓練・防災講話
"	新富ニュータウン自主防災会	防災講話
那須塩原市	杵掛新田自治会自主防災会	防災ガイドブック配布
"	豊浦町自治会自主防災会	非常用持出袋配布
"	旭町自主防災会	防災訓練
"	元町自治会自主防災会	"
"	関谷上町自主防災会	"
"	京町自治会自主防災会	"
"	関谷上の内自主防災会	"
"	下大貫自主防災会	"
さくら市	早乙女地区自主防災組織	防災訓練
"	上阿久津地区自主防災組織	"
"	南和田自主防災福祉組織	説明会
"	松田・西川原自主防災組織	防災訓練
"	フォーレ喜連川自主防災組織	"
那須烏山市	小倉自主防災会	"
"	大木須自主防災組織	"
"	宮原自治会自主防災会	防災マップ作成
"	横枕地区自主防災会	防災資機材の整備点検
"	川井地区自治会	防災訓練
益子町	新町自主防災組織	"
茂木町	茂木町茂木地区(54行政区)	"
壬生町	六美町北部自治会ワンワン防災会	"
野木町	野木自主防災協議会	"
"	新橋区自主防災協議会	防災訓練・要援護者リストとマップ作成
"	丸林自衛消防防災会	防災資機材の整備点検と地域巡回
高根沢町	太田地区自主防災組織	防災訓練
那須町	ロイヤルパレー自治会	消火器・消火栓等の点検